



2026. 9. 11

JTU

ほっきゅう

NO. 31

北九州市教職員組合にゅうす



「8・6平和のつどい」開催される！①

テーマ 「日本は戦争するの？ わたしはいや ヒロシマ・ナガサキを忘れたの？」



8月9日ウエルとばた大ホールで「8・6の平和のつどい」が開催されました。テーマは「日本は戦争するの？わたしはいや ヒロシマ・ナガサキを忘れたの？」です。これは今年の1月にアメリカがベネズエラを攻撃したニュースを見た子どもが、実際につぶ

やいた言葉をもとに考えられました。

今年のステージは、母と教職員と子ども達による絵本の読み聞かせ、「くつがいく」「さがしています」「ひろしまの子」や、教職員組合青年部による戦場ジャーナリストの山本美香さんを取りあげた平和授業の実践発表、「ハチロク小学校の子どもたち」による憲法についての創作朗読劇、引野中学校合唱部とそのOG達や退職教職員のグループ「クール シェリュ ブリュ」による平和の歌の合唱など、多様な主体によるパフォーマンスを通じて、平和の大切さを問ひかけ、未来への行動を呼びかけました。最後は出演者・来場者全員で「ヒロシマの有る国で」を大合唱しました。

広島・長崎に原爆が投下されてから81年。被爆者健康手帳を持つ人は、2026年3月末現在で9万1105人となり、前年から約8000人減少しました。平均年齢も86.66歳となり、被爆者の高齢化とともに、被爆の実相と平和への願いをいかに次の世代へ「つなぐ」かが、ますます重要になっています。

ロシアによるウクライナへの侵攻は5年目となり、アメリカとイランの紛争も終わりが見えません。ガザの避難民キャンプでは衛生状態の悪化や病虫害の発生、子どもの栄養不良などが大きな課題となっています。戦争は始めることよりも終わらせることが難しく、戦争が奪っていくのは、いつも一番小さな命とあたりまえの日常です。今こそ、平和の尊さを確かめ合うときです。想いを胸に秘めるだけでなく、声に出し、行動へとつなげていくことが、子どもたちの未来を守る力になります。

参加者からのメッセージです。

・せんそうはこわい、こわいだけじゃないとすることができた。せんそうのはんたいがへいわとした。もしせんそうがおきたら、せんそうをするひとじゃなく、せんそうを止めるひとになる。(10代)

・やっぱり戦争はいけないことだと分かったし、絵本や朗読などを聞いてさらに戦争についての知識を深めることができました。また合唱を聞いて戦争への思いが歌詞に込められていてとてもいい歌詞だと思いました。これから戦争をしないために、どんどん受け継いで、学んでいったらいいと思いました。(10代)

・今回の平和のつどいを通して改めて戦争や平和についてちゃんと考えることができました。劇や絵本の読み聞かせをきいているとその人たちがどんな気持ちで伝えようとしているかが心に伝わってきて感動しました。展示では、色々な人たちが平和を願って一生懸命作られていることが伝わり励みになりました。合唱では歌を通して会場の人たちといっしょになれた気がしてこれからもまだまだうたっていたいと感じました。出演させていただき本当にありがとうございました。(10代)

32号につづく



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail: jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

